



VOICE

読者のページ

2026年4月号(54巻4号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

下肢静脈エコーの基本と実践テクニック

- 下肢静脈エコーのレポート作成時の評価方法が非常に参考になりました。作成方法を参考にルーチン検査を行った結果、とてもスムーズにできました。

南の島のあーちゃん(沖縄県)

- D-ダイマーが陰性にもかかわらず下肢静脈エコー検査の依頼があると「この検査は本当に必要なのかな?」と思っていましたが、Wellsスコアが高確率の場合は画像検査が必要となることがわかり、納得しました。

まるねこ(兵庫県)

- 下肢静脈エコーに興味があったので、基礎的な解剖から勉強できて良かったです。

MT(青森県)

技術講座

豊胸術後の超音波検査のポイント

- 豊胸術後の乳腺エコーへの苦手意識が強く、正常・異常の判断に困っていた。正しい知識をもち、破損や漏出を判断できるようにしたい。

SI(長崎県)

- 乳腺エコーを前提とした記事ですが、心エコーでも豊胸術後の患者さんの検査には苦心するので、今後の参考にしたいと思います。

HY(東京都)

- 注入によるものは、嚢胞や腫瘍との区別が難しそうだと感じた。問診が重要になると思うが隠す人もいるので、コミュニケーションも大切になると思う。マンモグラフィは実施できない病院が多いので、エコー検査の重要性は高いことがわかった。

さんきち(山口県)

臨床検査技師のための AI・データサイエンス入門

1. 臨床検査技師のための AI 基礎 —現場で変わる業務とデータ

- これまでAIを実際に使用したことはありませんでしたが、機械学習、深層学習や、学習した内容の処理、解析などについて学ぶことができて、とても有意義でした。

KS(愛知県)

- 細胞診や病理の分野でもAIによる画像解析が普及し始めていますが、基礎知識を体系的に学ぶ機会は少ないため、臨床検査技師がどのようにAIと共存し、業務を効率化していくべきかの指針とできたらと思います。今後も期待しています。

KM(東京都)

- 検査室もAIと共存する時代になるのだろうなと思いました。

YG(和歌山県)

話題—NEWS&TOPICS

生理機能検査や採血室での ペイシェントハラスメントへの対応

- 待ち時間が長くなってしまったときの、患者さんの怒りがハラスメントに値するかはわからないが、本当に申し訳ない気持ちと、どうしようもない気持ちになるときがある。病院の待ち時間を短縮するシステムを導入してほしい。

わかめ(奈良県)

- 迷惑行為のある患者さんについては、情報を記録・共有することが自分たちを精神的にも守ることにつながると感じ、大変重要だと思いました。

MA(兵庫県)

- 今まで経験はありませんが、今後は(多国籍の方も含めて)さまざまな患者さんと遭遇するかもしれないので、対応の準備は必要だと感じました。

HM(北海道)

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています!

